

AGORA PROJECT WHITEPAPER

SNSとアフィリエイトに革新をもたらすプラットフォーム



AGORA

1. はじめに

AGORAではSNSとアフィリエイトの破壊的創造を目指すプラットフォームを構築致します。

当プラットフォームでは自分の発信力、情報などの知的財産を簡単にマネタイズでき、それらが金銭を受け取れる価値がある事を全ての人に理解してもらい、豊かな人生をバックアップする世界を実現致します。

副業解禁という流れがある今、より多くの方に当プラットフォームを活用して頂きたいと考えております。ブロックチェーンが実現する未来の世界（送受金の速さ、透明性、承認の公正性）を身近に感じることができるようになることで、大手企業に一極集中の流れから解放し、小規模な個人商店でも存在感を示せるような市場を実現すると共に、多様性が開花するDecentralized社会を目指します。

インターネットを使うことが当たり前になった2018年においても、口コミサイト等に掲載されていないが非常に素晴らしいお店は沢山あります。その様なお店を個人が広告してあげることで集客が増え店舗の売上が増加すると考えられます。その対価として、アフィリエイト報酬が個人自身にそのまま入ります。

これまで、そういったローカルなお店はブログで紹介を行い、そのブログの広告収入でマネタイズすることはできたものの、今後はダイレクトにお店からアフィリエイトで報酬を頂けるように致します。そんなWin-Win関係ができるプラットフォームを構築します。

AGORAを導入して頂ける大手企業から個人商店の商品をSNSユーザーが気軽にアフィリエイトすることにより、販売側も無数にマーケットができ、より生活の一部として浸透できるようなサービスへと昇華させます。

2. 従来の問題点

これまでのアフィリエイト業界では、プラットフォーム毎に様々な運営会社(ASP: Affiliate Service Provider)がいて、それぞれの運営会社のルールに則って運用されております。中でも、次のような問題を抱えています。

- ①アフィリエイトの承認ルールが曖昧。
- ②ASP毎に取り扱える商品が異なるため、複数のASPに登録する必要があり、管理コストが発生。
- ③会員登録も入力項目が多く面倒。
- ④大手アフィリエイターへの富の集中。
- ⑤日々商品は売れても、報酬の受取りは月に数回になり、リアルタイムのパフォーマンスが分かりにくい。
- ⑥個人商店など、ASPに登録していない業者はアフィリエイトしてもらえない。
- ⑦収益化までに時間がかかる。一人で黙々とやる人が多いので途中で挫折。
- ⑧今までのブログ型アフィリエイトは、そもそもアフィリンクを踏まない読者がいる。
- ⑨ASPを経由しているため仲介コストが発生。

3. 当プラットフォームでできること

我々AGORAでは、ブロックチェーンのネットワークを活用することで、
会社間の垣根を超えて利用できるアフィリエイトプラットフォームを構築致します。



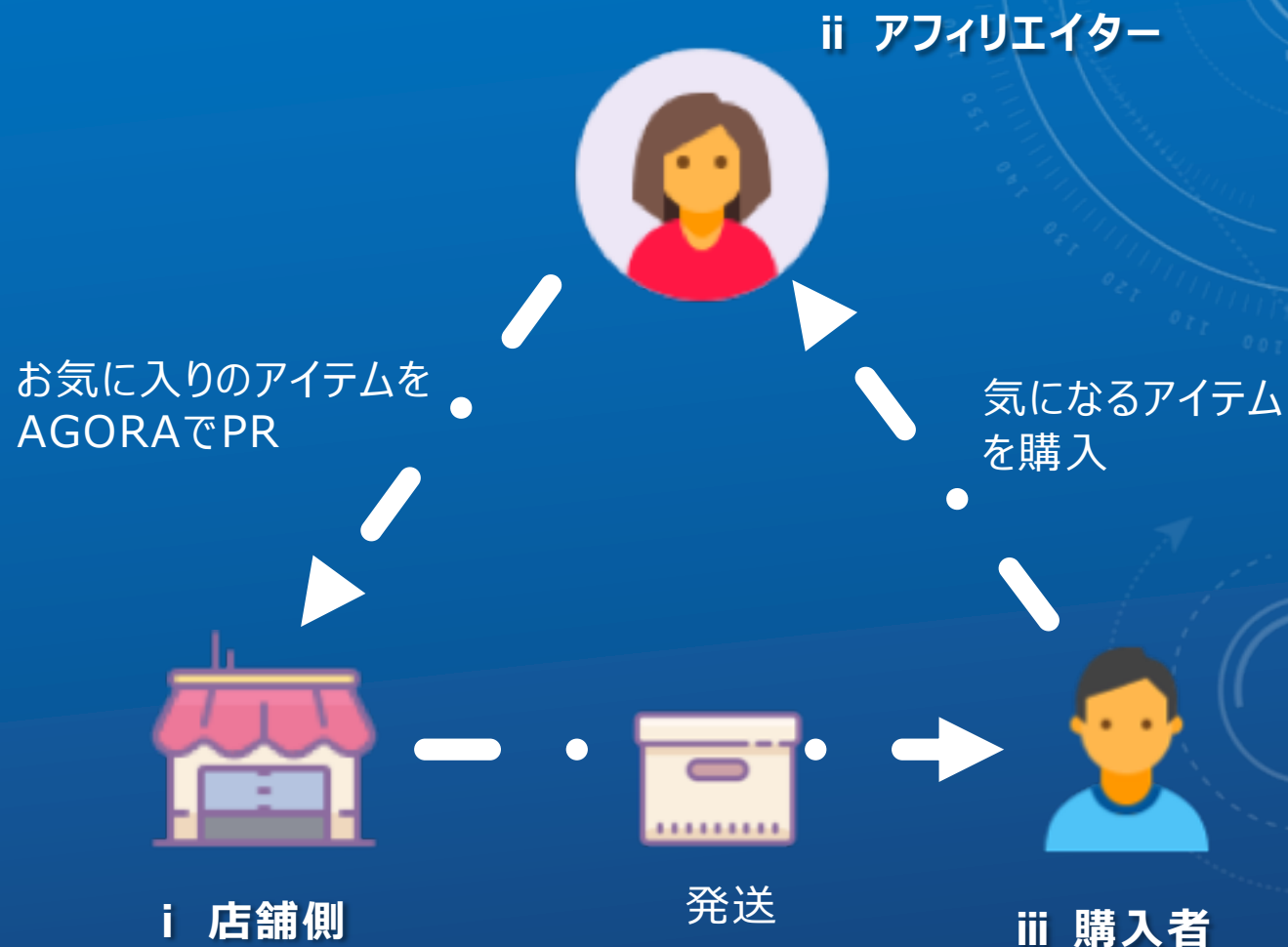
3. 当プラットフォームでできること

AGORAプラットフォームではSNS投稿の際に写真に対応店の商品が写っていれば、気軽にタグ付けなどでアフィリエイトも可能です。

当プラットフォームでは以下の参加者によって、構成されております。

- i. 店舗側
- ii. アフィリエイター
- iii. 購入者

次から詳しく各ケースを解説します。



3. 当プラットフォームでできること

i. 店舗側



① 商品の登録

物品の場合： AGORA加盟店に、商品を画像/動画付きで登録。

サービス・情報の場合： AGORA加盟店に、情報リンク等や商品紹介文などを登録。

② アフィリエイト状況はアプリで確認

日々のアフィリエイトターの活動を確認することができます。

また、プラットフォームのアフィリエイトターに直接依頼して宣伝活動をお願いすることもできます。

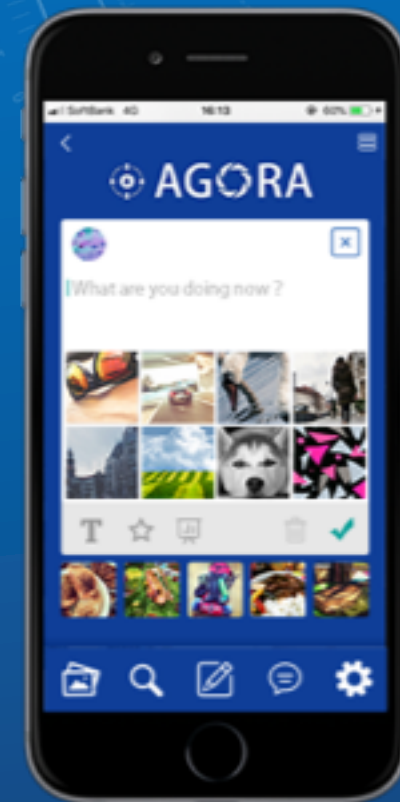
③ 報酬について

管理ページからアフィリエイト結果が確認できます。

アフィリエイト結果に対する報酬の支払いは、自社トークン以外にも、法定通貨やBitcoin等も導入できるシステムを開発する予定です。

自社トークンを選択した場合、手数料のレート等で優遇を受ける事が出来ます。

選択肢を増やす事により、利便性と実需の両立を目指していきます。



3. 当プラットフォームでできること

ii. アフィリエイター



① 宣伝商品の確認

商品一覧ページから、AGORA加盟店が登録して頂いた商品一覧が、ジャンル分けて表示されているため、そこから自分に合ったジャンル、商品を選びます。

② タグ付け

SNS投稿画面から気軽にそれら呼び出してタグ付けすることが出来ます。
また、関連商品等を表示させる事で更に様々な商品の販促を促し収益化へと繋がられます。

③ 報酬について

管理ページからアフィリエイト結果が確認できます。
アフィリエイト結果に応じて、トークンを取得することができます。
取得したトークンは換金することも可能ですが、我々はトークン保有者に対し、金銭的なメリット以外を享受できるようなサービス設計を考えております。



3. 当プラットフォームでできること

iii. 購入者



① 商品の閲覧

SNSプラットフォーム上で、アフィリエイターから紹介された商品を一覧することができます。趣味や目的が同じ人と繋がっているため、関心のない情報は回避することもできます。

② 商品の購入

気に入ったサービス、商品があった場合、購入することができます。支払いにはトークンもしくは法定通貨で決済致します。



3. 当プラットフォームでできること

アフィリエイトの種類

写真やリンクだけでなく、加盟店の商品をリアルタイム動画配信で販売する事の出来るシステムを構築し、自分の在庫ではなく加盟店の商品で出来るようにします。配信のセールストークで売上をたてることもでき、これまで静止画の中でしかできなかった以上の、セールス体験を提供致します。

プレリリース後もアップデートを繰り返し、更なる機能を追加していく予定です。
ホルダーの皆様からのご意見も取り入れつつ成長する、developer communityを目指していきます。

マネタイズ手段例



リアルタイム
動画配信



写真/動画タグ



リンク型

3. 当プラットフォームでできること

モデルケース

① ゲームレビュー、攻略記事

=> アプリのダウンロードリンク、関連商品のリンクから商品購入やアプリダウンロードで収益化。

② ファッションのコーデや、化粧の方法の記事や画像や動画

=> 使用した商品のリンクからそのまま購入し収益化。

③ スポーツ用品

=> How to 記事やプレイ動画をもとにユーザーを集め商品購入を促し収益化。

④ 飲食店やホテル予約

=> 料理の写真や部屋の写真をレビューも付けて投稿しリンクから予約画面に移行させ収益化。

⑤ 知的財産（小説・音楽・イラスト・ソースコードなど）、情報のパッケージ化

=> 解説やレビューを投稿し、リンクから商品購入で収益化。

事例は随時アップデートしていきます。皆様のアイディアの数だけ収益手段を提供できます。



4. アフィリエイト報酬承認方法

不透明なアフィリエイト承認ルールを革新するために、当プロジェクトでは、次のようなルールに則り運営を行います。

- ① 一定のトークンをもったホルダーであれば、報酬承認の権限保有。
- ② 権限を持ったホルダーからの承認が5つ以上貯まれば承認可決。
- ③ 承認結果は、他のホルダーからも確認でき、違法行為を働いた場合は通報可能。
- ④ 違法行為をしたホルダーは、ペナルティとしてトークンの一部を没収され、通報者へと還元。
- ⑤ 3日以上、ホルダーから承認がされない場合は、広告主側が承認。

トークンホルダーが適正に承認を行った場合は、一定のトークンを付与する等して、承認を行うインセンティブを設計するとともに、不正に対するペナルティも用意することで、トークンホルダー同士の相互評価のもと、健全な承認態勢を構築致します。

こうすることにより、運営側のオペレーションコストも下がり、空いた時間とお金をもとに更なるプラットフォームの改善を行っていきます。

5. 評価制度

当プラットフォームでは、前述のアフィリエイト報酬承認以外の普段活動からも評価制度を導入しております。悪用不正行為は低評価され一定割合を超えると一時機能の制限や最悪利用停止などの処置を取り、健全なコミュニティ運用がとれるように致します。

具体的には、次の行為に対しては低評価の対象となります。

- ① 誤情報、過大宣伝などでリンクを貼る行為
- ② 悪戯行為
- ③ 誹謗中傷や他人を不愉快にさせる言動

今までのSNSでは、アカウントの客観的な評価(信頼指数、評価指数)といったものが存在せず、知らない人に対しての信用度というのが可視化されず、共通の友達、共通のフォロワーなどをもとに判断するしかありませんでした。

信用度を可視化することで、真面目に投稿する人が報われる事につながり、良質な情報が集まり、それを求めて人も増え、そこに信頼が芽生え、加盟店様も安心して商品を登録でき、そうして大きなマーケットに昇華していきます。

6. SNSプラットフォーム

我々は「参考になり尚且つ最新の情報が集まるSNSプラットフォーム」を目指す事によって、それ目当ての参画者を増やしていきます。

その層が潜在顧客として後の利用者、買い手となって頂けるようなプラットフォームを構築し、ユーザー数を獲得していきます。

そのため、画像投稿サービス、動画投稿サービス、ブログ、一言投稿など様々な情報発信機能を用意し、SNSプラットフォームで発信できるように致します。

また、コミュニティ機能を充実させ、初心者でも同じプラットフォーム上の他の人からの援助によってノウハウを蓄積していき、自分なりのマネタイズを開拓できるようにします。援助を行ったユーザーはチップを受け取れ、信用度が上がるようなコミュニティ設計をし、裾野を増やしていきます。

7. AGORA対応店の展開

生活に必要な全てのものや情報が行き交う巨大マーケットSNSを構築するため、ユーザー数国内**1000万**を目指します。

それに向けて豊富な店舗を用意するため、対応店も順次増やしていきます。
尚、未対応店の場合、店舗側から申請することで開始できます。

当プラットフォームが成長していくと、アフィリエイト会社間の中間マージンがなくなり、アフィリエイトターの還元率が高くなります。

また、誰もがアフィリエイトターになる時代になると、ふとした日常の些細なことから副次的に収益化することが実現できます。

自分が好きなこと、興味があることなどでお金を稼ぐことができる世界を我々は実現させます。

8. ERC223を使う背景

ERC20では、トークンを誤ってコントラクトアドレスへ送金した場合トークンが移動できなくなってしまうという致命的なバグがありました。それにより2017年12月27日時点では3億5千万以上の移動できないトークンが確認されております。

我々は安心して運用できるよう、ERC20の規格の後方互換性があるERC223を採用致します。
ERC20に使えていた機能が使えることはもちろんのこと、MyEtherWalletやMetaMaskといったメジャーなウォレットを始め、ERC20規格に対応したサービス・ツールで取り扱うことができます。

また、AirDrop時にERC223トークンを付与致しますが、独自ブロックチェーンに移行後は保有トークンに応じて新しい仮想通貨を付与致します。独自ブロックチェーンに移行後すぐにERC223のトークンが使えなくなるということではなく、事前にSNS及びサイト上で周知の上、移行期間を設けます。



9. トークンの割当

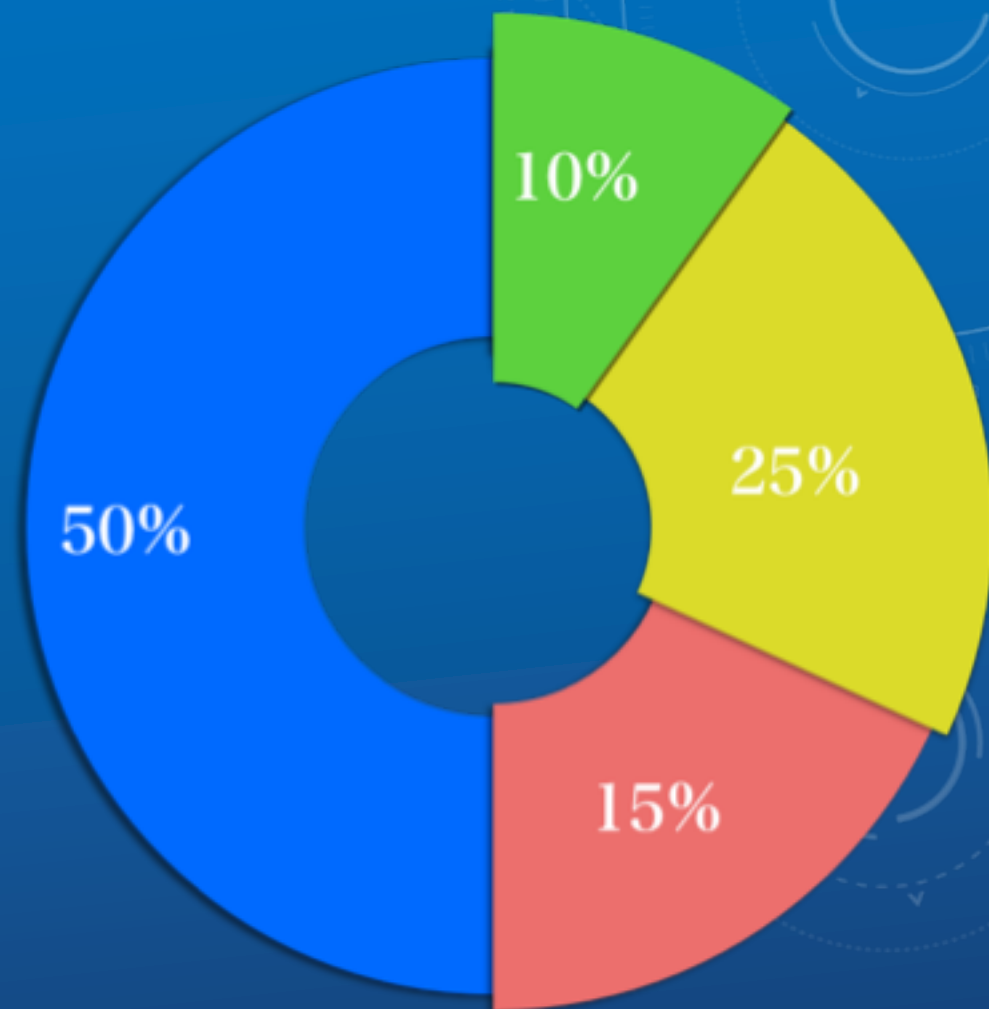
トークンの総発行枚数は**400億枚**です。

AGORAプロジェクト運営チームの所持割合は全体の10%とするため、市場への影響を抑えます。

システム開発がAGORAプロジェクトの礎です。
そのため、開発費の予算割合を25%とします。
セキュリティ費用等も含まれます。

次に15%を広告宣伝費の予算とします。
開発予定のSNSサービスのマーケティングは
AGORAプロジェクトの重要な戦略です。

上場SALEにて全体の50%を売却します。
初期中期の開発及び広告宣伝費に充てられます。



10. 独自ブロックチェーン開発の背景

既存のブロックチェーンを使わず、独自ブロックチェーン開発をする背景として次のような理由があります。

① 主体的に開発を行うため

トークンは動かすブロックチェーンに依存するため、不測の事態があるところらでできることが限られます。ブロックチェーンそのものを独自開発する場合、開発主導権は自分にあるため、不測の事態にも責任をもって対処できるのと、今後の機能追加などを主体的に行えるにするためです。

② マイニングによる付与をするため

PoW形式のブロックチェーンではマイニングが可能であることから、本ブロックチェーンでは、マイニング行為を通じてトークンを取得できるようにし、ホルダーにメリットをもたらすサービスを設計するためです。

③ 日本発の事例を作るため

日本発のメインチェーンはごく少数のため、日本ブロックチェーン技術の柱になり、ブロックチェーン産業を牽引することで、経済活動が活発化することを目標としているためです。

11. 取引所上場後売却形式を採用した背景

クラウドセール形式ではなく、取引所上場後売却形式を採用した背景として次のような理由があります。

① 昨今のICO詐欺の横行

資金調達だけしてその後全く運営、開発を行っていないサービスが沢山ありました。中でも、取引所に上場しないと価値を持たないトークンだけが残っており、売りたくても売れない状態がありました。上場後売却形式の場合、こういった場合でも、売却して資金を回収することができます。

② 上場してからの売却のため、安心して投資できる

ICOの場合、早くても1ヶ月程の期間を経て取引所に上場する流れになりますが、そのタイムラグを解消することができます。

③ プロジェクト始動までも早く行える

我々も、事前に上場できる安心感を持ってマイルストーンを設計できるため、資金調達後は開発運営に集中して取り組むことができます。

12. 上場SALE参加方法

AGORAプロジェクトは独自トークンを発行して資金調達します。
法令に則り国内外問わずICOやプレセールは行いません。

海外取引所に上場後、総発行枚数の50%の200億枚を販売致します。
方法と致しましては、2satoshiに150億枚の売り注文を並べて壁を作ります。そして残りの50億枚と2satoshiに並べている150億枚分の売り注文は、注文数を見ながら必要に応じて放出していきます。

取引所での調達資金は初期中期の開発及びマーケティング費に充当します。

※ 1 satoshiで売買が成立を想定して発行数を決定しております。

意図しない価格での購入は運営一同望んではおりません。

従いまして今回は運営の壁注文を完了するまで意図しない価格での買い注文が入らないようにトークン名、トークン情報は非公開でプロジェクトを進めて参ります。

上場日に関しても正確な日程は皆様の公平性を保つため公表できないことをご了承ください。

海外取引所上場後、運営注文が板に並んだ時点で皆様にトークン名等の情報を世界同時発表させて頂きます。

13. 運営陣

以下のメンバーを筆頭に運営を行います。
採用を強化し、さらなるサービスの向上に努めます。

代表取締役CEO/CSO 松井 大地 (Daichi Matsui)

代表取締役CEO/CTO 伊藤 剛輝 (Takeki Itoh)

取締役CTO/CMO 宮田 渉 (Wataru Miyata)